

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	活動施設の充実			総合計画コード	432
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名	市民環境部(コミュニティセンター)				

1. 施策概要

めざす 目的成果	地域での様々な活動ができる市民センター、コミュニティセンター、市民会館等が整備され、市民は快適に利用することができ、コミュニティ活動・文化活動が活発に行われている。				
施策概要	コミュニティ活動の拠点である市民センター・コミュニティセンター、文化活動の拠点である市民会館等を適切に管理運営する。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市公共施設等総合管理計画	計画期間	H 28 年度	～ H 77 年度
				H 年度	～ H 年度
				H 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	市民センター8館の管理運営を指定管理者制度により行った。 コミュニティセンター舞台機構照明保守、音響保守、ホール座席保守のほか、必要な修繕を随時行った。 市民会館の管理運営を指定管理者制度により行った。 市民会館耐震補強等工事の設計業務を行った。 旧第四小学校のグラウンド貸出し、施設清掃、松くい虫防除等の業務を行った。					
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	老朽化する施設を適切に維持管理するため、必要な修繕や改修を行った。 市民会館の耐震化事業として耐震補強等工事に係る設計業務を実施した。				
	子育てが しやすいまち	ベビーベッドの設置など、子ども連れの利用者に配慮した維持管理を行った。				
	つながりのある 元気なまち	地域の活動拠点となる施設として、適切に維持管理するとともに、様々な事業を展開した。				
	自然・環境に 恵まれたまち	施設の修繕や改修に当たり、環境性能に優れた機器を導入するなど、自然環境の保全に努めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		318,624	—	—	—	—

指標名 (説明)		単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	市民センター利用率	%	59.3	59.6	60.0	60.3	60.6
	(説明) 利用可能枠に対する利用率		60.8	—	—	—	—
②							
	(説明)			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	☐ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ☐ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ☐ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ☐ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ☒ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) 施設点検の実施や速やかな修繕、改修を行ったことにより、臨時休館することなく開館することができた。利用率はほぼ横ばいであるが、適切な維持管理に努め、大きなトラブルもなく、利用者からの評価も概ね良好であった。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	☐ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ☐ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ☐ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ☐ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ☒ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) 市民センター、市民会館、コミュニティセンター等のいずれも利用率はほぼ横ばいであり、大きな変動がなく、概ね良好な利用率で推移しているため、当面の間は利用ニーズは現状のまま変わらないと考えられる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 市民センター、市民会館、コミュニティセンターとも利用率が44～60パーセント程度であり、まだまだ利用率を向上させる余地がある。今後は新規利用者を開拓し、広く地域コミュニティの場として機能させる必要がある。市民会館は、施設の耐震補強が喫緊の課題であり、平成29年度から耐震補強等工事に着手する予定である。また、市民会館・市民センターは施設の老朽化のため大規模改修が必要な時期であるが、高額な改修費用が見込まれることから、朝霞市公共施設等総合管理計画に基づき、実施内容や時期等を適切に見定める必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☐ 重点化 ☐ 内容の見直し						
	(説明) 地域住民が利用しやすいよう市民ニーズをアンケートや窓口での対話などから収集し、施設利用の利便性を高め、利用者の満足度の向上を図る。						
行政と市民の役割分担	☐ Ⅰ 行政の関与(役割)を拡大 ☒ Ⅱ 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ☐ Ⅲ 市民の関与(役割)を拡大						
	(説明) 自治会、町内会の要望、利用者アンケート及び指定管理者の意見などの情報収集を行い、市民ニーズの把握に積極的に努め、施設の管理運営に反映せざる。						
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名		総コスト(事業費＋人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
			H27決算	H28決算見込			
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	計 (単位:千円)				—	—	—
☒ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載							
審議会等の第三者機関の評価(意見)	関連する第三者機関なし						
部長の意見	市民ニーズの把握に努め、利用しやすい施設を目指して施設運営を行っていく。						

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方

施策名	活動施設の充実			総合計画コード	432
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名	市民環境部(コミュニティセンター)				

施策を 構成する 事務事業の 次年度の 方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 コミュニティセンター運営事業	8,003	8,670	3	3	現状のまま
	2 コミュニティセンター管理事業	5,957	5,514	3	3	現状のまま
	3 旧第四小学校跡地暫定利用事業	3,164	3,917	3	3	縮小
	4 市民会館管理運営事業	94,256	93,254	3	3	現状のまま
	5 市民会館施設耐震化事業	0	22,534	4	4	現状のまま
	6 市民会館施設改修事業	—	36,753	5	5	H28で休止・廃止・終了
	7 市民センター管理運営事業	142,646	141,204	3	3	現状のまま
	8 市民センター施設改修事業	—	6,778	5	5	H28で休止・廃止・終了
	9 自治振興事業	—	—	4	3	拡大
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	254,026	318,624	—	—	—